

給水工事技術振興財団が主催する

給水装置工事配管技能検定会を 時期を早めて 今年も開催！

申込み方法などのご案内・・・！！

検定会合格者の資格

- 平成23年8月30日、厚生労働省水道課長から「給水装置工事に際しては、同主任技術者を選任すると共に適切に作業ができる技能を有する者に従事又は監督させる」。その「技能を有する者」として、「① 水道事業者等の試験等により資格を与えられた配管工・配管技能者 ② 職能法に規定する配管技能士 ③ 職訓校の配管科修了者 ④ 給水工事財団が行う検定会合格者・・・であって、配水管への分水栓取付け、穿孔、給水管接合の経験者」と例示されました。
現段階において穿孔の実技を含む試験・検定は、この配管技能検定会のみであり、名実ともに「分岐及び配管技能」を一体的に証明し得る、唯一の資格となっています。
- こうした流れを受けて東京都水道局では「配管工事施工要領」において給水装置工事等では「分岐及び配管施工実務経験証明書」〔当該合格証〕の添付義務付けを始めました。
 - このような事情から、県内でも今後、重要視されてくる資格です。

29年度から次の3点に変更されました・・・

- ◎ 「分岐穿孔のみコース」は全国標準に統合。ただし、配管技能士1～3級の資格をお持ちの方は、配管作業（分岐穿孔後、三種類の配管をする工程）が免除。（これに伴い材料費も分岐穿孔に係る部分のみご負担いただきます。）
- ◎ 従来の紙の合格証書を廃し、合格者には、カード型の「配管技能者証」を発行。
- ◎ 受検料(37,000円)は、申込時に納付となります。（申込書に払込領収書を添付。材料費はその後、財団からの別途通知により納付していただきます。）

1 実施日時 平成29年9月9日 土曜日 午前8時～午後5時30分

2 実施会場 埼玉県管工事会館 会議室(学科課程)、同 駐車場(実技課程)

3 検定種別及び定員

① 全国標準(B) 定員80人 ※ ただし 定員になり次第 〆切です。

4 検定内容

① 学科課程（1時間30分）「水道法の基礎知識」「主要材料の特質」「管材別の施行方法」「安全管理」など

② 実技課程（2時間）〔標準〕「サドル付分水栓取付」「手動での分岐穿孔」「3種の給水管の切断・接合」〔※ ポリエ管、硬質塩化ビ管、ステンレス鋼管〕

但し、配管作業免除者は、分水栓取付及び穿孔（1時間）

5 受検資格

給水装置工事の実務経験が2年以上あり、基本的な知識・技能を有する方。
但し、厚労省の国家資格である配管技能士(1～3級)、職業訓練校等の配管科修了者、水道事業体及び日水協が実施の配管技能試験合格・講習修了者は、配管作業(切断・接合・組立)は免除されます。〔申請時に資格証コピー添付〕

6 受検料等

全国標準 受検料 : 37,000円 + 受検者負担材料費 : 23,000円
但し、配管作業免除者の受検者負担材料費 : 11,000円

※ 会員外の方は、上記のほか3,000円の事務取扱手数料を申受けます。

7 受検申込書の入手及び提出

- ・受検申込書は、別紙を使用してください。
(共に、給水財団のホームページからプリントアウトも可能です)
〔給水財団ホームページのトップ ⇒ 「配管技能検定会」 ⇒ 「受検申込書」 ⇒ 「全国標準検定(B)」からプリントアウト。
なお、実施詳細は「29年度検定会日程」⇒「埼玉県」で確認できます。

- ・受検申込書に必要事項を記入・押印し、受験料を納入後、給水財団へ郵送にて提出します。

提出先 〒163-0712 東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 小田急第一生命ビル
(公財) 給水工事技術振興財団 教務部

8 提出後のスケジュール等 (埼玉県開催分の場合)

- ・受検申込受付期間 平成29年 5月22(月)～ 7月7日(金)
- ・財団が受領・審査後、6月中旬から7月上旬にかけて、受検者負担材料費の納入依頼(銀行振込で埼玉連へ)が受検者へ郵送されます。
- ・受検者が材料費を振込後、8月中・下旬に受検票、検定会の時間割、注意事項、駐車場案内など検定会の詳細が、受検者に郵送されます。



穿孔の模範実技の様子



実技終了・判定前の様子

埼玉連では「手動穿孔をしたことがない」との声に応え、ダクタイル鋳鉄管への手動穿孔によるサドル分水栓の取付けを実際に練習してみる機会として8月19日(土)に穿孔実技講習会も開催します。 詳細は、黄色のチラシをご覧ください。

◎ お問い合わせ 埼玉県管工事業協同組合連合会 事務局 電話 048-853-2777